

議会だより

愛荘町議会新体制始動



スマートフォンで視聴
左記の二次元コードを読み取る
と、スマートフォンから映像配
信をご覧ください。

《ピックアップ》町制施行6期目愛荘町議会	2
令和8年度一般会計当初予算可決	4
常任委員会活動報告	7
議案審議	9
一般質問	10
子ども議会	21
6月定例会予定・編集後記	24

発行 滋賀県愛荘町議会
編集 議会広報常任委員会
〒529-1380 愛知郡愛荘町愛知川72
TEL 0749-42-7670 FAX 0749-42-7698
e-mail: gikai@town.aisho.lg.jp

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

町制施行6期目 愛荘町議会スタート



愛荘町議会 議長

かわむら ぜんいち
河村 善一 (沓掛) 無所属 当選回数6



明日の“愛荘町”発展のために、希望のもてる町にしたいと考えています。希望があれば頑張れます。一步一步、時間がかかっても、町の発展のため、頑張ります。

愛荘町議会 副議長

むらにし さくお
村西 作雄 (安孫子) 無所属 当選回数3



皆様方のお力で、合併来過去最高の1,396票の支持をいただき、トップ当選させていただきました。皆さんの声をしっかりと町政に届け、子育てや高齢者にやさしい町づくりにまい進します。

こすが ひさのぶ
小菅 久宣 (長野) 無所属 当選回数2



「住みたい、住んでよかった」まちづくりを目指したい。愛荘町のインフラ整備、地域に合った持続可能な農村集落の「まちづくり」を目指し、実現に向けて取り組みます。

なかがわ きよかず
中川 喜代和 (山川原) 無所属 当選回数2



ふるさとに誇りをもてるまち、安心して暮らせるまちを実現するため、私は公正・公平な立場に立ちきり、町民の皆様の声や願いに寄り添い共に未来のまちづくりを進めます。

おかもと しほみ
岡本 志穂美 (市) 無所属 当選回数1



町民の皆さまの声に真摯に耳を傾け、子どもと女性が元気に暮らせる愛荘町の未来づくりに、誠実に取り組んでまいります。

くやま さちよ
久山 幸代 (愛知川) 無所属 当選回数1



私は常々人口2万人の小さな町だからこそ、出来る事がたくさんあると思っています。「顔の見える関係」を大切に、小さな町の小回りのきく議員として頑張ってお参ります。

さわだ もとひろ
澤田 源宏 (松尾寺) 無所属 当選回数3



行政運営の主役は、議員でも町職員でもなく、町民のみなさまです。その声を聞き、議会へつなげ「人が飛躍」「地域が飛躍」さらには「愛荘町が飛躍」するよう務めます。

むらた さだむ
村田 定 (市) 無所属 当選回数5



人口減少への対応・子育て環境の整備・高齢者の介護・福祉の充実・地域経済の活性化に努め、町民皆様の声に耳を傾け住民対話と現場主義で課題解決に積極的に取り組みます。

ともこ
メンドーザ 智子 (沓掛) 無所属 当選回数1



人が集まり活気あふれる愛荘町を目指し、働く場を増やし、時代の変化に合わせ斬新な取り組みにも積極的に挑戦していきます。

くぼた まさとし
久保田 正利 (東円堂) 無所属 当選回数2



2期目を迎え、しなやかで柔軟な姿勢を大切に町民の声に真摯に向き合い、議員力の向上を図りながら、公正で開かれた議会運営と地域発展の実現に尽力してまいります。

たき すみえ
瀧 すみ江 (石橋) 日本共産党 当選回数9



私は「福祉のこころを町政に」を信条に、「みんなが幸せになれるまちづくり」を目指します。幸せの絶対条件は平和です。これからも平和を守り続けていきたいと思ひます。

たけなか ひでお
竹中 秀夫 (川久保) 無所属 当選回数11



住民皆様の声に真摯に耳を傾け、今何を優先すべきなのかを考えながら、福祉・子育て・防災減災・地域活性化等全力で取り組み『未来に誇れる町づくり』のため頑張ります。

役員紹介

総務産業建設常任委員会

委員長 竹中 秀夫
副委員長 澤田 源宏
久山 幸代
久保田正利
小菅 久宣
瀧 すみ江

教育民生常任委員会

委員長 中川喜代和
副委員長 岡本志穂美
メンドーザ智子
村西 作雄
村田 定
河村 善一

広報常任委員会

委員長 久保田正利
副委員長 瀧 すみ江
岡本志穂美
久山 幸代
村西 作雄

議会運営委員会

委員長 竹中 秀夫
副委員長 久保田正利
小菅 久宣
中川喜代和
村西 作雄

役員紹介

監査委員

村田 定

彦根愛知犬上広域行政組合

議員 村西 作雄
瀧 すみ江
竹中 秀夫

東近江行政組合

議員 小菅 久宣
河村 善一

湖東広域衛生管理組合

議員 岡本志穂美
久山 幸代
メンドーザ智子
村田 定

愛知郡広域行政組合

議員 久保田正利
中川喜代和
澤田 源宏

主要事業
PICK UP!

令和8年度一般会

計当初予算

可決

賛成 10人
反対 1人

地域共生社会 2.0 事業

Q 具体的にどのような事業を実施するのか。



A 「つながる健康教室」は週3回、午前10時から午前11時15分の間、いきいきセンターまたは愛の郷で運動を中心に実施している。「つながる居場所」は、週2回、午後1時から午後3時の間、いきいきセンターまたは愛の郷で脳トレ、趣味活動、月1回の外出支援を実施しており、町内の学校等との交流もある。



多世代を対象とした「つながる健康教室」「つながる居場所」の実施状況

学校体育館の空調設備

Q 学校体育館の空調整備予算が計上されていないが、どのような方向性であるのか。

A 体育館の構造体の状況等も含めて検討している。近隣市町を参考にしながら、何が有効なのか財源確保も含めて協議を重ねている状況である。

過去最大の予算規模、今後の政策予算

Q 骨格予算でありながら、予算規模が過去最大である要因は何か。

A 人件費の増加、物価高に加え、施設の維持管理経費が影響している。

Q 今後の補正予算で政策的経費を編成する余裕はあるのか。

A 物価高騰対策や子育て支援などの補正予算を編成する。ただし、将来に過大な負担を残さないよう慎重に進める。

予算規模

一般会計	116億 600万円	[前年度比+0.7%]
特別会計	38億5,490万円	[前年度比+1.6%]
下水道事業会計	17億5,843万円	[前年度比▲4.0%]

予算編成

町長選挙を踏まえ、骨格予算として継続事業および義務的経費を中心に予算編成を行われ、新規事業や政策的経費は、肉付予算として以後の補正予算により対応することとされた。住民サービスの向上や職員の働き方改革に資するデジタル実装を継続的に進めるとともに、公共施設の最適配置や年々費用負担が増大するインフラの老朽化対策、福祉や教育、暮らしの安全、防災・減災など、住民生活に不可欠なサービスを安定的に提供するための施策に予算を配分され、未来に向けたまちづくりの着実な推進と基礎的な行政サービスの確保と充実の両立を図るなど、さらなる成長につながる施策を展開する予算を編成された。

3月9日に上程された「令和8年度愛荘町一般会計予算」は、予算常任委員会に付託され、3月13、16日に審査した。反対討論が1件で賛成多数で原案のとおり可決した。また、3月23日の本会議においても、反対討論が1件で賛成多数で原案のとおり可決した。

ふるさと納税の運営

Q 厳しい財政状況であり、財源確保のため、ふるさと納税は重要な事業である。どのような運営をするのか。

A 6つのポータルサイトで運営している。中間業者のノウハウを活用し、新たな製品の磨き上げや開発に注力する。



ふるさと納税チラシ

総務産業建設常任委員会

3月9日に上程された議案は、総務産業建設常任委員会に付託され3月11日に審査した。

付託議案

●議案第5号 愛荘町消防団条例の一部を改正する条例

国が、消防団員の年間報酬額と出動報酬額の標準額を定めたことに伴い、町消防団の報酬額を標準額に合わせるため改正するもの。

Q 報酬の改定は消防団の理解を得られているのか。

A 消防団員の不足の課題から処遇改善を目的としたもの。年額報酬は国の基準を満たしており団とは協議済みである。

Q 報酬の改定により、消防団の担い手不足が解消されるのか。

A 機関団員の負担に見合った報酬にすることで、長く続けていただけたらと考えている。

Q 火災時等の出動に必要な団員数はどのように判断しているのか。

A 団長の指示のもと必要な団員が出動し、その他の団員は待機している。



消防団訓練の様子

可決

付託議案の採決 討論はなく、全員賛成で可決した。

付託議案

●議案第15号 令和8年度愛荘町土地取得造成事業特別会計予算

Q 令和8年度において、事業の進捗率は何パーセントを目指しているか。

A 土地の売買に関わるため、数字的な目標は申し上げられないが、準備ができたところから販売できるよう対応する。

可決

付託議案の採決 討論はなく、全員賛成で可決した。

付託議案

●議案第19号 令和8年度愛荘町下水道事業会計予算

Q 水洗化率はどれくらいか。

A 令和6年3月末で92.4%、令和7年3月末で92.6%である。

Q 現在検討している新たな下水道使用料はいつから適用されるのか。

A 令和8年度も引き続き協議を行い、令和9年度から新たな使用料となる予定。

可決

付託議案の採決 討論はなく、全員賛成で可決した。

主な補正予算

PICK UP!

令和8年度当初予算に追加する政策経費を盛り込んだ内付予算を編成され、3月23日本会議に総額約3億1,680万円の補正予算が上程され、全員賛成で可決した。

小学校給食費無償化事業

国で議論されてきた「学校給食費の抜本的な負担軽減への対応」に伴い、小学校給食費を無償化する。これまで同様、給食の質と量を維持する。国補助約7,064万円に伴い、給食費個人負担金約5,425万円を減額するもの。



おいしい給食

物価高騰対応商品券交付事業

2億500万円(全額国補助)

物価高騰の影響を受ける生活者を支援するとともに、町内での消費を促進し、町内事業者を支援する。住民全員に対し1人あたり商品券8,000円分を郵送により交付する。
※商品券1,000円×8枚



商品券

地域公共交通応援事業

140万円(全額国補助)

近江鉄道(鉄道・バス)を利用する通学者を対象として、通学定期券購入の一部補助を行い、経済的負担軽減を図るとともに、地域公共交通の利用を促進する。
補助率：購入費用の20%
(上限額1万円、併用利用で最大2万円)



近江鉄道

公共施設LED化計画事業

総額約974万円

令和9年末で蛍光灯の製造・輸出入が終了することに伴い、LED化できていない公共施設を対象に、令和12年度末までに順次LED化を進める。はじめに、本庁舎、秦荘支所、消防センター、地域総合センター、給食センターのLED化工事を令和9年度末までに完成させるため、令和8年度は、各施設ごとに設計業務を行うもの。

Q 予算執行の観点から、入札をそれぞれの所管課で行うのではなく、経費を安価に抑えるため、一括入札すべきではないか。

A 各所属課の責任や工期を踏まえ検討する。

A

令和8年3月定例会議案審議

全員賛成の議案

議案番号	件名	議決日
承認第1号	令和7年度愛荘町一般会計補正予算(第9号)の専決処分につき承認を求めることについて	3月10日
同意第2号	愛荘町監査委員の選任につき同意を求めることについて	
同意第3号	愛荘町公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	
議案第1号	愛荘町特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
議案第2号	愛荘町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	
議案第6号	愛荘町住民基本台帳カードの利用に関する条例を廃止する条例	
議案第7号	愛荘町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	
議案第9号	令和7年度愛荘町土地取得造成事業特別会計補正予算(第1号)	
議案第10号	令和7年度愛荘町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	
議案第11号	令和7年度愛荘町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	
議案第12号	令和7年度愛荘町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	
議案第13号	令和7年度愛荘町下水道事業会計補正予算(第3号)	
議案第5号	愛荘町消防団条例の一部を改正する条例	
議案第15号	令和8年度愛荘町土地取得造成事業特別会計予算	
議案第19号	令和8年度愛荘町下水道事業会計予算	
同意第4号	愛荘町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	
同意第5号	愛荘町職員懲戒審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	
同意第6号	愛荘町職員懲戒審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	
同意第7号	愛荘町職員懲戒審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	
議案第21号	愛荘町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	
議案第22号	令和7年度愛荘町一般会計補正予算(第11号)	
議案第23号	令和7年度愛荘町下水道事業会計補正予算(第4号)	
議案第24号	令和8年度愛荘町一般会計補正予算(第1号)	
選挙第7号	愛荘町選挙管理委員会委員および委員補充員の選挙について	
選挙第8号	滋賀県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について"	
議提第3号	委員会閉会中の継続調査について"	
議提第4号	議員派遣について	

一括採決

賛否が分かれた議案

(※議長は採決に加わっていません)
○賛成 ×反対

議案番号	件名	岡本志穂美	久山幸代	メンドーザ	久保田正利	小菅久宣	中川喜代和	澤田源宏	村西作雄	村田定	瀧すみ江	竹中秀夫	河村善一	議決結果	議決日	
議案第3号	愛荘町職員の旅費に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	3月10日	原案可決
議案第8号	令和7年度愛荘町一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第4号	愛荘町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第14号	令和8年度愛荘町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第16号	令和8年度愛荘町国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第17号	令和8年度愛荘町後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第18号	令和8年度愛荘町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第20号	愛荘町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議提第2号	アメリカ・イスラエルによるイランへの先制攻撃に抗議する決議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×		否決	

教育民生常任委員会

3月9日に上程された議案は、教育民生常任委員会に付託され3月12日に審査した。

付託議案

●議案第4号 愛荘町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の税率について、町の国民健康保険事業の運営に関する協議会に対し諮問し、県から示された令和7年度における納付金の決定額等を基に示された答申に基づき税率を改正するもの。



Q 74歳に対する人間ドック助成を拡大されるが、保険料(税)の県統一後も継続するのか。

A 基金を活用し10年程度は継続する予定である。

付託議案の採決 討論はなく、全員賛成で可決した。

可決

付託議案

●議案第16号 令和8年度愛荘町国民健康保険事業特別会計予算

Q 特定健康診査の受診者数を向上させる施策は何か。

A 未受診者への受診勧奨の際に、人間ドック助成の再募集を検討している。未受診者に対して未受診の理由などを聞き取り、受診しやすい環境作りに取り組んでいる。

付託議案の採決 討論はなく、全員賛成で可決した。

可決

付託議案

●議案第17号 令和8年度愛荘町後期高齢者医療事業特別会計予算

付託議案の採決 質疑、討論はなく、全員賛成で可決した。

可決

付託議案

●議案第18号 令和8年度愛荘町介護保険事業特別会計予算

Q 悠々教室の取り組み、工夫はどのようにしているか。

A 教室の期間は3か月であるが、2集落を目標に実施していただいている。終了後は自主的に行ってもらえるよう講座の内容を工夫している。

Q 頭の健康チェック事業はどのような内容か。

A 福祉課担当職員が対象者に電話で聞き取りをし、その内容をシステムに入力することで健康チェックの結果がでる。結果により受診勧奨や保健師が訪問指導を行う事業。

付託議案の採決 討論はなく、全員賛成で可決した。

可決



録画配信はこちら

村田 定 議員

令和8年度予算編成

Q まちの課題解決に向けて盛り込んだ施策とは

A 継続事業や義務的経費を中心とした骨格予算

問 重点的に取り組む施策と、財源確保について。
答 (町長) 厳しい財政状況下における重点施策として施設の集約化と最適配置に力点を置く。

問 町の施策に対し組織・執行体制の方針について。
答 (町長) 人材の確保が難しい現状において、施策を行うためには、人材育成は極めて重要であると認識している。まず、適材適所の実現に向けて、職員一人ひとりの専門性や能力を最

問 旧町時代から引継ぎ、維持してきた各施設は、人口減少の進行や利用ニーズの変容に直面する今、全て現行のまま維持することは、将来世代に多大な財政負担となる。そのため、施設の多機能化や複合化による行政運営の効率化を徹底し、そこで生み出された財源を、必要な住民サービスへ戦略的に振り向け持続可能なまちづくりにつなげる。
答 (町長) 現在、わが国経済は物価高騰の影響により、個人消費の伸び悩みや家計への負担増など、依然として予断を許さない状況にある。本町においても、少子高齢化に伴う担い手不足や、激甚化する自然災害への対応は、大変重要な課題と認識している。加えて、社会保障費の増大やインフラの老朽化対策、さらには人件費の上昇といった歳出が高まる一方、歳入面の見直しは不透明さを増している。こうした難局にあっても、財政の健全性を堅持しつつ、持続可能な行政サービスを維持・発展させていく必要がある。

問 公共施設の解体予定が遅れている理由について。
答 (公共施設最適配置室長) 方向性そのものというより、解体を実施するための前提条件の整理に時間を要しているためである。愛知川公民館・町民センターは、両館の貸館機能の一部を引き継ぐため、福祉センター愛の郷を複合施設に改修する準備を進めている。愛の郷の複合施設化は、概略設計中であり、令和9年度に改修することを目標に進めている。

問 令和8年度予算編成と、目指す成果は。
答 (町長) 現在、わが国経済は物価高騰の影響により、個人消費の伸び悩みや家計への負担増など、依然として予断を許さない状況にある。本町においても、少子高齢化に伴う担い手不足や、激甚化する自然災害への対応は、大変重要な課題と認識している。加えて、社会保障費の増大やインフラの老朽化対策、さらには人件費の上昇といった歳出が高まる一方、歳入面の見直しは不透明さを増している。こうした難局にあっても、財政の健全性を堅持しつつ、持続可能な行政サービスを維持・発展させていく必要がある。

問 公共施設マネジメント
答 (町長) 旧町時代から引継ぎ、維持してきた各施設は、人口減少の進行や利用ニーズの変容に直面する今、全て現行のまま維持することは、将来世代に多大な財政負担となる。そのため、施設の多機能化や複合化による行政運営の効率化を徹底し、そこで生み出された財源を、必要な住民サービスへ戦略的に振り向け持続可能なまちづくりにつなげる。

問 中央スポーツ公園 テニスコート
答 (生涯学習課長) 湿気や日陰により黒コケが発生し、利用者に不便をかけている状況である。このアドバイスを基に、令和7年度中に機器を購入して清掃する。今後は、指定管理者である体育協会により、定期的に実施する予定である。

問 公共施設マネジメント
答 (町長) 旧町時代から引継ぎ、維持してきた各施設は、人口減少の進行や利用ニーズの変容に直面する今、全て現行のまま維持することは、将来世代に多大な財政負担となる。そのため、施設の多機能化や複合化による行政運営の効率化を徹底し、そこで生み出された財源を、必要な住民サービスへ戦略的に振り向け持続可能なまちづくりにつなげる。



清掃されたテニスコート

あなたの声を町政に

一般質問

一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などに方針を問うものです。



議員名でさがす

制限時間 質問のみ 30分以内 (答弁は別)
質問方法 ☆ 一括方式
・最初に全部の質問をし、まとめて回答を得る
・同一議題に対する質問は3回まで
☆ 一問一答
一問ごとに質問・回答を繰り返す

【令和8年3月定例会】一般質問一覧

村田 定 議員 【一問一答】	① 令和8年度の予算編成 ② 愛荘町公共施設マネジメント推進委員会 ③ 愛荘町中央スポーツ公園テニスコート	11P
中川喜代和 議員 【一問一答】	① 町民の日々の生活を支える有効な物価高騰対策を ② 巨大地震に備えた「町民の対策意識を高める」方策は ③ ひとり親・共働き家庭の就労を支援する行政施策の充実を目指して	12P
久保田正利 議員 【一問一答】	① 有村町長の公約は ② 障がい者の通院交通費補助等の考えは	13P
村西 作雄 議員 【一問一答】	① 町長の居住地 ② 副町長の選任は地元から	14P
瀧 すみ江 議員 【一問一答】	① 学校給食無償化 ② 町内巡回バス ③ 学校体育館のエアコン設置 ④ 保育料の無料化 ⑤ ラポール秦荘けんこうプール	15P
岡本志穂美 議員 【一問一答】	① 空き家対策と女性の創業支援を組み合わせた「区分貸し型リノベーション事業」の導入	16P
メド・ザ智子 議員 【一問一答】	① カルチャーセンターの整備 ② 空き地の活用	17P
小菅 久宣 議員 【一問一答】	① 未来思考を考えたの視察研修 ② 有村町長3選目の取り組み	18P
久山 幸代 議員 【一問一答】	① 地球温暖化の気候変動による豪雨災害や熱中症予防の対策	19P
竹中 秀夫 議員 【一括方式】	① 町長の3期目に向けた意気込み	20P

議会だよりでは、スペースの関係で質問と答弁を要約してあります。



録画配信はこちら

久保田正利 議員

有村町長の公約は

Q 町長公約の古い政治とは

A 大声を振りかざし、行政職員を委縮させる言動は特に古い政治と言える

問 選挙広報などに掲載された時計の針を戻す町とは。

答 (町長) 私が考える古い政治とは、声を大きく振りかざし、行政職員を委縮させるような言動が通っている政治は、特に古い政治と言えらると思う。批判や政治的な攻撃にエネルギーを注ぐ議員や議会は、もはや国民や町民の支持を得ず、嘲笑の対象である。成熟した社会において、また人的にも財政的にも様々な制約があるなかにおいて、なぜ行政はそうに取り組みねばならないのかという事柄の背景にも、当事者意識を持つて思いをいたし、本質を捉え、相手への敬意を持った責任ある落ち着いた建設的な言葉のやり取りをする政治環境の保全是、今日の国民や町民から政治に求められる当然かつ普遍的な価値である。

問 選挙広報などに掲載された時計の針を戻す町とは。

答 (町長) 選挙広報などに掲載された時計の針を戻す町とは、進歩論を著したダーウィンの示唆にもあるように、強いものが生き残るのではない、変化に最も柔軟に対応したものが生き残るのだと思う。変化の空気を察知し、変化におののかない、たくましい心と能力を身に付け発揮し、来る時代をより明るいものにしようとする各位、各層の取り組みと意識と意欲の持ちようこそ

問 町長、町執行部、議会、町民、企業等どのような取り組みをすると未来志向のまちとなるのか。

答 (町長) 立場によらず、内発、外発を含め、地域事情、国際情勢、技術や医療、教育面や文化面、精神面も含め、生き物である私たちの社会が織りなす社会におけるニーズは、圧倒的な量とスピードで変化をしている。健康寿命の確保や健康寿命に向けた各施策の普及と推進については、生活習慣病健診や各種がん検診、肝炎ウイルス健診等に係る個人負担金の無償化を進める。各種健診は、集団方式および個別に医療機関で受診できる方式を取っており、令和8年度中に医療機関等との調整を図り、令和9年度からの実施に向けて進める。

問 障がい者の通院交通費補助等の考えは

答 (福祉政策監) 今日の物価高騰、特にガソリン価格の高騰の実態に見合っているのかという質問は、合併当初のタクシーの初乗り料金を基準とし本事業を継続していることから、調査研究する考えである。



録画配信はこちら

中川 喜代和 議員

全ての町民の生活を支える有効な物価高騰対策を

Q 物価高騰対策支援が行きわたる施策を求める

A 物価高騰対応商品券事業により、生活を支援する

問 昨年9月、12月議会に引き続き質問する側の意図を十分汲み取り、町民が少しでもほっとする対策支援を考えたものである。

答 (町長) 物価高騰が止まらないなかで、家計のやりくりをして生き抜いている町民の実生活、およびこれまでの対策の検証結果を直視し、物価高騰対策として町民全てに支援が行きわたる施策を強く求めたいが、現況においてどのような施策を考えているのか、町の計画を問う。

問 巨大地震に備え、町民の対策意識を高める方策は

答 (町長) 町では様々な機会を通じて、町民の防災意識の高揚や自主防災組織の活動推進に努めている。昨年の秋に開催した町防災訓練では、170人以上の住民とともに、消防団や赤十字奉仕団、社会福祉協議会など、町内団体からも多数の参加をいただき、避難所の設置や物資輸送、炊き出しなど、避難後の生活を想定した実践的な訓練を実施した。また、11の自治会や団体で実施した防災出前講座には、合わせて

問 ひとり親・共働き家庭の就労を支援する、行政施策の充実を目指して

答 (子ども支援課長) ひとり親や共働き世帯にとって、保育所や学童保育所の入所に係る不安や悩みは大変大きいものである。町では、子ども支援課に保育コーディネーターを配置し、保育所や幼稚園、学童保育所の入所に係る保護者一人ひとりの相談に丁寧に耳を傾け、それぞれの不安や悩みに寄り添い、それぞれのケースに応じた助言を行っている。また、必要に応じて県の湖東健康福祉事務所や滋賀マザーズジョブステーションなど関係機関につき、連携しながら支援を実施している。

問 安定かつ継続的な町政運営には、職員の労力や確保が必要であるが方向性は

答 (町長) 職員配置について、所属長への人事ヒアリングを実施し、組織体制に反映している。また、それ以外にも定期的に所属長による面談を行うとともに、職員組合や安全衛生委員会などからの意見聴取も重要な手段と考えている。これらの組織を通じて集まった意見を真摯に受け止め、職場環境の改善に生かしていく所存である。





録画配信はこちら

瀧 すみ江 議員

学校体育館のエアコン

Q 子ども達や町民のために設置を
求める

A 環境改善のため取り組んでいきたい

問 買い物やお医者さんに行けない高齢者が増えている。愛のリタクシーは1時間前までに予約が必要なので使いにくいなどの声がある。

町内巡回バス

答 (町長) 公立小学校を対象に、国が全国一律の実施に向けて準備を進めている。当町において令和8年4月から小学校の給食無償化を実施する。中学校の給食無償化については、国の動向も注視したい。

問 学校給食無償化
2月9日、愛荘町の給食無償化を求める会が459人分の署名を添えた「保育園・幼稚園小学校・中学校の給食無償化を求める要望書」を町長に提出した。要望書では、すべての子どもが給食費の心配なく平等に給食を食べ、食の教育を受けられるよう無償化の実現を求めている。

答 (町長) 町民の願い実現に向け、まずは義務教育である小学校と中学校の給食無償化を求める。



学校体育館で避難訓練

問 学校体育館は災害時の避難所にもなる。猛暑の夏、生徒が熱中症になる心配もある。現在のところ、町の小中学校で体育館にエアコンを設置している学校はない。子ども達や町民のために、

答 (町長) 新たに町内巡回バスを実施する場合には、導入にともなう初期投資や運営コストなどの財政負担が大きい。愛のリタクシーが実績やノウハウを活かして運行しているのも、その利便性向上に取り組み利用を推奨した方がよい。

問 学校体育館のエアコン
学校体育館は空調整備は必要不可欠である。現在、町にあった整備状況について、防災部局と教育委員会部局とで協議を進めている。避難所や教育現場の環境改善のために早急に取り組んでいきたい。

答 (町長) 学校体育館の空調整備は必要不可欠である。現在、町にあった整備状況について、防災部局と教育委員会部局とで協議を進めている。避難所や教育現場の環境改善のために早急に取り組んでいきたい。

問 0〜2歳児の保育料
現在、国の政策で3〜5歳児の保育料は無料になっているが、0〜2歳児の保育料は有料である。物価の高騰のもと、子育てにはお金がかかる。町民が喜ぶ子育て支援となる0歳児・1歳児・2歳児の保育料無料化を求めたい。

0〜2歳児の保育料

答 (町長) 当町では、生活保護世帯や住民税非課税世帯を対象として0歳〜2歳児の保育料を無料にしている。保育所に入所している子どもが2人以上の世帯に、第2子以降の保育料を半額・無料にし、経済的な負担軽減を支援している。

問 学校体育館のエアコン設置を
求める。

答 (町長) 学校体育館の空調整備は必要不可欠である。現在、町にあった整備状況について、防災部局と教育委員会部局とで協議を進めている。避難所や教育現場の環境改善のために早急に取り組んでいきたい。

問 けんこうプール
ラポール秦荘けんこうプールのプールゾーンは、夏場の7月〜9月の3カ月の利用になった。元気な高齢者になることはみんなの願いである。歩きにくい方もプールなら歩くことができる。超高齢化社会に向かいこのような施設が必要である。プールゾーンの年中実施を求める多くの声を聴いている。プールゾーンを温水にもどし、一年中入れるようにすることを求める。

けんこうプール

答 (町長) 人々の健康増進の拠点として重要な施設と考えている。夏期だけのプール運用とドライゾーンの充実での運営を議会と決定した経緯がある。プールを活用した健康づくりに加え、スタジオでの健康体操教室や2階のビュートレーンを活用した陸トレや脳トレ体操等を実施している。引き続き、健康増進の拠点として、施設の有効活用、とりわけドライゾーンの充実を図りたい。

問 副町長の選任は地元から
町長は過去8年間、石田・中西副町長、そして現在の杉本副町長とすべて県庁から派遣を求められ、補佐をしていただいていた。このような状況を、他の県内市町や町民の眼から見ても、まさに県におんぶにだっこで、自立できていないと思われており、私もその考えに同感だ。令和8年度からの副町長の選任にあたっては、地元愛荘町の隅々をよく知り、地域課題も把握している町内の有能な人材を副町長に選任され、二人三脚でまちづくりにまい進されるべき。

答 (町長) 人事のこともであり、その考えに現時点で述べさせていただく事柄はなく、ご意見として拝聴させていただく。

町長の居住地

Q 町長は就任以来8年間、本当に市に
住み生活の拠点を置いていたのか

A これまでもお答えしているとおり市です



録画配信はこちら

村西 作雄 議員

問 町長は8年前の町長就任時から、何人もの議員の一般質問の答弁で、私の居住地は市ですと公式の場で答弁を繰り返してこられた。最近では12月議会でも、上田議員の災害緊急対策本部の立ち上げが重要だが、その対応が十分とれる体制かとの問いに、町長は市から本庁舎まで5分足らずで到着可能と答弁。また、今回の町長選にあっても、相手候補は住民票は市にあるかもしれないが、町長は現実的に町外に居住されている。こんな状況では危機管理体制が取れないと町民に訴えられた。

答 (経営戦略課長) 5月東京日帰り1回、米原駅まで自車で駐車料500円。10月宿泊出張1回、米原駅まで自車で駐車料1,500円。11月東京まで3回、内泊が2回で米原駅まですべて自車で駐車場代1,500円

問 町長3期目の新たな出発にあたり、生活の本拠は住んでいるところは町外だと公式に明らかにされないか。

答 (経営戦略課長) ここで今年度の新幹線米原駅からの町長の公務出張の実績と旅費支給状況は。

問 町長がどういう行程で行かれるその旅費については、実際の行程に従って支払う。町長が米原駅まで旅費を請求されないなら、町としても自車で行かれて請求されないものであって、その行程で行かれた

問 町長は過去8年間、本当に市に住み生活の拠点を置いていたのか。今後の本拠地は。

答 (町長) これまでもお答えしている通り、市です。老いた両親の面倒を見ているのも、兄弟のなかにおいても私ですし、こ

問 副町長の選任は地元から
町長は過去8年間、石田・中西副町長、そして現在の杉本副町長とすべて県庁から派遣を求められ、補佐をしていただいていた。このような状況を、他の県内市町や町民の眼から見ても、まさに県におんぶにだっこで、自立できていないと思われており、私もその考えに同感だ。令和8年度からの副町長の選任にあたっては、地元愛荘町の隅々をよく知り、地域課題も把握している町内の有能な人材を副町長に選任され、二人三脚でまちづくりにまい進されるべき。

答 (町長) 人事のこともであり、その考えに現時点で述べさせていただく事柄はなく、ご意見として拝聴させていただく。



メンドーザ 智子 議員

空き地の活用

Q 地域活性化の観点から有効活用すべき

A 多角的な視点で検討を深める

答 (町長) 生涯学習20アクションプランに基づき、人と人がつながり学び合うことで地域づくりを進めている。持続可能なまちの実現には、地域資源を生かした教育・文化環境の充実が重要であ

問 老朽化している公共施設の有効活用の観点から、再利用し、住民が集えるカルチャーセンターとして整備することはできないか。現在の公民館は、和室や会議室など一般室が中心となっている。一方、町内には鏡付きフロリングの練習・運動用スペースが少なく、町内で活動できる場所が限られている。そこで、既存の建物を活用して、フロリング仕様の多目的室・鏡付きのスタジオを備えた空間へと再利用することはできないか。また、町民だけでなく、他市町からの利用も可能とし、適正な使用料を設定することで、一定の収益化も期待できる。町の考え方を伺う。

カルチャーセンターの整備 老朽化している公共施設の有効活用の観点から、再利用し、住民が集えるカルチャーセンターとして整備することはできないか。



カルチャーセンター(イメージ)

り、既存施設の有効活用もその一つと位置付けている。秦荘支所の鏡張り多目的室やゆめまちテラスえちなど交流の場として活用されている。今後は少子化に伴う空き教室の活用も視野に入れ、地域のニーズに応じた多様な用途で施設を提供し、交流促進や地域コミュニティの活性化につなげていく考えである。また、有効的に施設を利用できるように情報を広く周知していく。

答 (町長) 町内には、ラポール秦荘はつらつドームや各種公園、マルシェなど、空間を活用した交流の場が既に存在し、一定のぎわいが生まれていると認識している。議員提案のようなカフェやレストランを備えた滞在型拠

問 本町では空き地が目立つ地域もあると感じている。景観や防犯、地域活性化の観点から、空き地の活用を町はどのように考えているのか。半屋外の雨をしのげる空間を整備し、店舗やコンテナ型ショップ、カフェ、レストランなどを誘致し家族が一日中過ごせる拠点づくりを目指すことが良いのではないか。町内には飲食店や遊び場が少なく、住民が町外へ流出している。町外から人を呼び込むことで町の活気や交流も生まれると考える。また、拠点が整備されれば、地元の40代以上や子育て世代の方の雇用創出にもつながられるのではないか。町の考え方を伺う。



空き地の活用(イメージ)

点については、中山道愛知川宿街道交流館北側の土地活用として検討を進めており、既存施設と連携しながら来訪者の滞在時間の延長やにぎわい創出を目指す方針である。今後は、地域や関係者の意見を踏まえつつ、公共施設の統廃合後の跡地活用も含め、民間活力の導入など多角的な視点で検討を深めていく考えである。



岡本志穂美 議員

空き家を活用した女性創業支援拠点の整備

Q 空き家の現状と把握状況は

A 総合的な空き家対策を実施している

本町においても空き家の増加が課題となっている。一方で、近年は自宅の一室でサロン、教室、カウンセリング業などを営む女性個人事業主が増加している。しかし、子どもの成長に伴い部屋の確保が困難になる。生活空間と仕事空間の分離が難しい。自宅住所公開への不安。集客や信用面での課題などにより、事業の継続や拡大に悩む声も多い。そこで、町内の空き家をリノベーションし、一室ごとの区分貸し。低賃料での提供。共用スペースの整備。女性の創業・自立支援拠点としての活用を図る仕組みを構築してはどうかと考える。これは単なる空き家対策にとどまらず、

・女性活躍推進
・創業支援
・子育てと仕事の両立支援
・地域コミュニティの再生にも資する施策である。

答 (企画政策監) 令和3年度の運用開始以来、累計で56件の登録がある。その内訳は利活用が容易なAランクが6件、修繕等により利活用可能なBランクが22件、課題のあるCランクが5件となっている。なお、残る23件については未登録物件である。最も状態の悪いDランクの物件はない。

問 利活用の可能性がある空き家395戸のうち、空き家バンクに登録しているのはどれだけのか。



古民家を活用したお店

答 (企画政策監) 現在のまちの計画体制の範囲では構想はしていない。理由としては、第一に、空き家は所有者の同意や権利関係の調整が必要であり、利用可能な物件の確保が容易ではないこと。第二に、改修に当たっては法令対応が必要となり、費用の確保や各種調整に相応の期間を要すること。第三に、区分貸しの場合は共用部分の管理や利用者間の調整など運営面の負担が大きく、安定的な運営主体と収支見通しの確保が不可欠であることである。当町としては、当面、空き家の掘り起こしや流通促進、利活用希望者とのマッチング、補助制度の活用など、現行施策の実効性を高めることを優先する。

問 官民連携による女性創業支援拠点の整備について伺う。

答 (企画政策監) 地域おこし協力隊による起業や民間主体による空き家を活用した地域活動など、既存の地域資源を生かした挑戦の事例も生まれてきている。ソフト面での取り組みを通して、地域において挑戦する人材が生まれやすい環境づくりを進め、多様な人材の活躍を後押しする。



店内の様子



録画配信はこちら

久山 幸代 議員

気候変動による災害対策

Q 熱中症や豪雨から高齢者や子どもを守る対策は

A 子どもたちに安全指導や室内イベントを

問 ゲリラ豪雨時の突発的な災害時の通学路の安全確保と子どもたちの周知について伺う。

答 (教育振興課長) 近年、ゲリラ豪雨は突発的に発生し落雷・突風を伴うこ

問 熱中症予防対策として、町ホームページや広報、防災無線等で熱中症予防行動のポイントの啓発活動を行っている。特に危険な暑さになる場合は、子どもや高齢者は体温調整機能が不十分であるため、野外での活動は避け、こまめな水分補給やエアコン等による暑さを避ける行動をとっていただき、日頃から健康管理や暑さに備えた体力づくりの啓発を行っているところである。

答 (健康推進課長) 熱中症予防対策として、町ホームページや広報、防災無線等で熱中症予防行動のポイントの啓発活動を行っている。特に危険な暑さになる場合は、子どもや高齢者は体温調整機能が不十分であるため、野外での活動は避け、こまめな水分補給やエアコン等による暑さを避ける行動をとっていただき、日頃から健康管理や暑さに備えた体力づくりの啓発を行っているところである。

問 公園やグラウンドゴルフ場に屋根のある休憩所など、野外で活動する子どもたちや高齢者の熱中症対策について伺う。

答 (農林振興課長) たつの市は、説明会を学区単位で実施され、地域計画の策定は地域が行い、本町と同様と考える。見直しに向けた取り組みを進めていく通知があり、関係機関と連携、モデル地区を定め地域の農業関係者や耕作者と、話し合いを始めている。町内全域の地域計画見直しに向けた取り組みを進める。



避難する場所がない通学路

問 熱中症予防のための子どもから高齢者まで

とから、登下校中の児童生徒の安全確保は重要な課題と認識している。通学路の安全点検や危険箇所の把握、関係機関との情報共有を行い、気象予報等の情報を収集・確認し、危険が予測される場合は、保護者連絡システムを活用し、登下校時間の変更を行うなど、安全確保を最優先とした対応に努めている。

移動中の避難については、近くの安全な場所に一時避難することの重要性や、地域の実情に応じて、公共施設や店舗など、一時的な避難場所の事前確認と、その場所について児童生徒に周知を行っている。

問 熱中症予防のためのドリンクングステーション(水飲栓やボトルディスプレイ等)の施設設置について伺う。

答 (町長) 当町の熱中症対策としては、役場庁舎や図書館などの

問 熱中症予防のためのドリンクングステーション(水飲栓やボトルディスプレイ等)の施設設置について伺う。

答 (町長) 当町の熱中症対策としては、役場庁舎や図書館などの



熱中症予防のため水分補給が重要

8つの公共施設と4つの民間施設を、指定暑熱避難施設「クーリングシェルター」に指定しており、熱中症特別警戒アラートの発表期間中は休憩所として一般に開放されるが、飲料の提供は施設の利用者自身で準備いただくことが基本となっている。ドリンクングステーションを町で設置することは考えていない。

今後、クーリングシェルター指定施設に対して、平時からの施設開放を依頼していく予定である。



録画配信はこちら

小菅 久宣 議員

未来志向を考えたの視察

Q たつの市の考え方で、見習う点は

A 特に参考とするところはないと認識

問 中間管理機構の農地の集約、集積、地域計画の進め方について、たつの市とわが町の考え方は違ったか。

答 (農林振興課長) たつの市は、説明会を学区単位で実施され、地域計画の策定は地域が行い、本町と同様と考える。見直しに向けた取り組みを進めていく通知があり、関係機関と連携、モデル地区を定め地域の農業関係者や耕作者と、話し合いを始めている。町内全域の地域計画見直しに向けた取り組みを進める。

問 10年経って、中間管理機構を使つての再契約について、たつの市の考え方などを伺う。

答 (農林振興課) 再契約に係る業務は、兵庫県および滋賀県共に中間管理機構が行っており、再契約用の申請書を作成し、耕作者宛に申請書を送付するが、兵庫県では各市町が行うのに対して、滋賀県では中間管理機構が行っている。発送業務は異なるが、特に参考とするところはないと認識している。



たつの市での視察研修

問 有村町長3期目の取り組み

答 (町長) ①小学校学校給食費の無償化 ②新生児誕生お祝いとして国が進める10万円の支援に町独自で進める

問 有村町政の農業政策の重点施策の考えを伺う。

答 (町長) ソフト面で新規就農者に対する支援を実施している。ハード面は、土地改良施設の大規模な更新事業で、秦荘1期

問 激戦での128票差での当選をどう考えるか。

答 (町長) 大変尊い票を私に投じてくださった方々に深い感謝を申し上げる。相手候補を支持された方々も思いやごえんのなかでのことで戦い終えた今、その結果をどう考えるか、よりふさわしい表現の仕方があるのかもしれない。改めて選挙という民主主義の仕組みとは何と厳然たるものであるかと考え感じている。

問 9年春開通予定の神郷彦根線で、愛知川彦根線信号機以降の路線が決まらない。県土木事務所への要請は。

答 (町長) 湖東土木事務所、彦根市と令和5年度から定期的に協議を行ってきた。直近では、本年1月26日に湖東土木事務所、彦根市、愛知川彦根線方面に向かう車両が直進された場合の対策について、担当者間で協議を行った。

問 長野外周道路の停滞の原因は。

答 (町長) 予算配分の優先度が停滞している一つの要因。また、令和8年度の工事箇所は継続して工事を行う路線を予定しており、年度内に完了が見込める路線を優先する、同路線に係る工事は少し先になる見込み。

地区、愛知川1期地区が5年度から工事着手され、西部地域の土地改良事業は、8年度に事業採択、9年度の工事着手を目指し現在進めている。

子ども議会開催される



秦荘東小学校



愛知川小学校

町内小学校の子ども議員のみなさん



秦荘西小学校



愛知川東小学校

令和8年2月17日(火)～20日(金)に小学生による子ども議会を開きました。今年度は大雪による影響で各校での実施となりましたが、未来を担う子どもたちに、町の仕事や議会の仕組みを理解してもらいたい、町政(政治)をより身近なものとして感じてもらうこと、また、子どもたちからの要望や意見を受け止め、今後の町づくりの参考とすることを目的として開催したものです。小学生15人の様子をお伝えします。

今日の子ども議会をふり返ると、議長をできて良かったと思いました。議長だけではなく、他の議員、議会の様子を知ること、これからの人生や政治について興味をもって学べたと思いました。

おかもと そうし
岡本 蒼司 議長
(愛知川小学校)



子ども議会に向けた小学校における取組紹介

今回の子ども議会にのぞむにあたりそれぞれの学校において準備してきたことを冒頭の岡本議長がいさつの中で代表して述べられました。

◎今日の子ども議会を迎えるにあたり、今自分たちが住んでいる愛荘町をよりよくするために質問内容を考えました。学校生活や登下校などで、「日ごろから疑問に思っていること」や「こうしたらよくなるのではないかなと思うこと」などを集め、自己調整力を高める活動や学習の機会を活用して、お互いに意見を出し合い、練り合せて整理しました。子ども議会議員それぞれの想いを乗せて質問させていただきますので、よろしくお願ひします。

子ども議会宣言

私たちが子ども議員は、愛荘町の「人が輝き 人が育つ 未来を拓く 愛荘の教育」の理念を大切に、小学生の代表として次のことを宣言し、各学校で、この精神に基づいて、主体的な活動に取り組みます。

- 一、愛荘町の未来を担う一人として、自分を鍛え、勉強や芸術スポーツにどんどんチャレンジします。
- 一、一人ひとりがルールを守り、いじめのない安心できる学校を作ります。
- 一、お互いの気持ちを理解するとともに、地域の人と人とのふれあいを大切にします。
- 一、愛荘町の恵まれた自然に感謝するとともに、誇りに思い、ふるさとの環境を大切にします。

令和8年2月 愛荘町子ども議会



町長の3期目に向けた 意気込み

Q 中学校の給食無償化はどのような構想なのか

A 相当なコミットを要することである



竹中 秀夫 議員



録画配信はこちら

問 2月22日に執行された町長選挙は、僅差でありながら有村町長が3期目を就任されることになった。

町長公約の中では、4つの視点として、学校給食の無償化、新生児お祝い、けんこう愛荘というテーマでのまちの盛り上げ、健康寿命の確保や健康長寿に向けた各施策のさらなる普及と推進を掲げられている。これらについて一括方式で質問する。

まず、学校給食の無償化について、小学校は2026年4月から実施することだが、中学校の無償化はどのような構想をお持ちなのか、具体的に現時点の町長の思いを聞く。

次に、財政状況が厳しい中、新生児のお祝い金と給食費の無償化とあわせて財源確保の考え方を聞く。

また、けんこう愛荘とのことであるが、今後、健康を維持していくためには何が必要でどのような取り組みが重要であるのか町長の考えを聞く。

最後に、健康長寿に向けた取り組みのことであるが、私も高齢になるにつれ毎年定

期健診や人間ドックにも行く。食事や運動には非常に気を遣っている。これはそれぞれの個々に取り組むべきことである。自己負担、自己責任のもとで管理するものと考えているが、具体的な施策とは何を示しているのか。取り組みのき目線をどこに置いているのか聞く。

答 (町長)

給食無償化は、まず小学校からスタートさせる。中学校は、保護者の方々の巻き込みでの導入ということが大事だと思っている。町としては相当なコミットを要することであるので、その社会的意義を生徒と保護者、社会の皆様にご理解をいただくことが肝要である。打ち出の小槌はないものなので、議会においても様々に協力を賜りたい。

また、公共施設は重要でありながら、その維持管理は町財政にとって重荷になっている。ソフト分野への予算の振り向けを実現していきたい。議員の皆様も選挙において、あれをやる、これをやると具体を記し訴えたいという方々もおられる。議員の

方々へのお願いとして、具体をおっしゃるからには、やはり施策の実現と町予算に厳しい制約があるなか、どのように財源や予算を工面していくのかはセットである。政治に携わる者としては、その部分を常に根幹においた議論と尽力こそ是非とも賜りたい。どの議会においても、でき得る方は、まさに言うだけでなく、予算や事業確保までされる。これこそ議員各位の政治家としての腕と力量の見せどころであるとも思う一人でもある。

中学校での実施に向け、具体として時期を示していないのは、そのような事柄が背景として控えている。

新生児のお祝い金は、国の施策に加え、町独自の支援策として令和8年4月以降に出産された方に対し1万円を上乗せして支給したいと考えている。さらに、新生児訪問や子育て支援センターあいつ子で実施している1歳のお誕生会の機会に紙おむつを渡し、子育て世帯に対する経済的な支援をしたいと思う。

けんこう愛荘という構想は、健康づくりという枠組み

を超え、町のあらゆる施策を有機的に束ねる屋根であり、町政を支える礎となるものである。この実現に向け、何が重要でどのような取り組みが重要かを述べさせていた。だと、現在進めている個別の事業をけんこう愛荘という大きなビジョンのもとに結集させ、町政全体を貫く共通価値とするものである。

健康寿命の確保や健康寿命に向けた取り組みについては、各種健診の個人負担金の無償化がある。また、国民健康保険事業における人間ドック、脳ドックの個人負担金の補助である。やはり自分の健康は自分で守るという主体的に自らの健康に向き合う町民を増やしていきたい。そのためのきっかけづくりのハードルをより引き下げて、町民の健やかな人生を応援するためのものがある。

町民一人ひとりが心身共に満たされ良い状態でいられるために、主体的に健康づくりを楽しく取り組み気楽に継続すること、そして地域の中で活躍し、つながりあえるまちを目指すものである。

暮らし安全環境課・経営戦略課・教育振興課

答 防災にも貢献する再生可能エネルギーの活用について、これからも考えていきます。

感想 (中村) 私は、子ども議会を通して、町のみなさんがたくさん私たちの事を考えて、接してくださりとてもうれしかったです。これからは私達が愛荘町をより良い町にしていきたいです。(辻) 子ども議会を通して、今まで考えていなかったことや新しいことを知ることができました。提案したことが実現して、より良い愛荘町になったらいいと思います。よい経験になってよかったです。

電気代節約のための取り組みについて

なかむら いおり 中村 伊織 議員 (愛知川小学校)
つじ ゆな 辻 優七 議員 (愛知川小学校)

問 愛知川小学校では、昨年1年間でおおよそ760万円もの電気代がかかっています。町の大切なお金が毎年たくさん電気に使われていることから、学校内での電気代節約対策として学校に太陽光パネルや自転車発電機を設置をお願いしたいです。



子ども支援課・みらい創生課・福祉課・農林振興課

答 ボランティアの方々の協力により運営されている場合が多いため、関係機関と連携し、ボランティアの養成を図っていきます。

感想 (林) 私は、子ども議会を通して自分達が平和に暮らしているのはたくさんの大人が課題を解決してくれているからだと感じました。最初は少しきんちょうしたけれど、自分の思いを言えてうれしかったです。(服部)今日の議会では、クラスみんなで考えたことについて発言することができたので、とても良い経験になったと思います。そして、議会や選挙など愛荘町で行われていることをとても身近に感じられました。

校区内でのこども食堂の設置について

はやし うたう 林 歌唄 議員 (愛知川小学校)
はっとり ゆりこ 服部 有璃子 議員 (愛知川小学校)

問 子ども食堂は、経済的に課題を抱える家庭をはじめ、多くの子どもたちが栄養のあるご飯を食べることができ、交流を深め、温かい地域づくりにもつながると思います。愛荘町には、5か所の子ども食堂がありますが、長期休みや不規則の開催のため、毎週決まった曜日に利用できるような子ども食堂が愛知川小学校地区にもできてほしいと思いますが、実現可能でしょうか。



生涯学習課・みらい創生課・建設下水道課・商工観光課福祉課

答 多くの人が快適に過ごせる公園にするために、一緒に考えていきたいと思います。

感想 (浅居)ぼくは、地域の人たちと、仲良く暮らせるようにと思って今回の提案を考えました。子ども議会を通して、公園は年れい関係なく地域の人をつなぐ大切な役割があると考えました。(石川)ぼくは、愛荘町がより美しくなるように、この提案をしました。子ども議会を通してぼくの考えた提案が今の愛荘町がもっと美しくなる取り組みのきっかけになると、うれしいです。

みんなが楽しく遊べてボールが使える大きな公園の設置について

あさい とし 浅居 翔己 議員 (愛知川東小学校)
いしかわ しょうた 石川 翔太 議員 (愛知川東小学校)

問 友達と遊ぶときに、ボールの使用を禁止している公園が多く、外で遊べなくなることがあります。また、多くの年代の方が使える公園を設置することでノーメディアをすすめ、地域の絆を深められると思います。ボール遊びができる大きな公園の設置とドッグラン・ゲートボールのできる公園の設置をお願いしたいです。



暮らし安全環境課・商工観光課・みらい創生課教育振興課

答 これからも、住民のみなさんが自主的に美しい愛荘町を維持する取り組みを一緒にすすめていきたいと思います。



各学校での開催となったため、議員以外の皆さんも会場で議会の様子を見て、体感することができました。



ごみのない美しい町を目指す取り組みについて

あさい とし 浅居 翔己 議員 (愛知川東小学校)
いしかわ しょうた 石川 翔太 議員 (愛知川東小学校)

問 通学路を歩いていると、お菓子の袋や空き缶、ペットボトルなどのごみが落ちていたり、町内のイベントに参加した時も、ごみ箱ではない場所にごみが捨てられていたりしていました。そこで、子どもと大人が協力して「ポイ捨てのない美しい愛荘町にするための取り組み」を提案します。



生涯学習課・みらい創生課・農林振興課・福祉課

答 あらゆる世代が学び交流できる講座やイベントを企画するだけでなく、住民の皆さんが企画・実行していただけるようなイベントの開催を支援していきます。

感想 (津野) 子ども議会できんちょうしたけどあせらず、しっかりと自分の意見を話せし、話すのがうまくできてうれしかったです。ぼくたちにきんちょうな時間をつくってくださりありがとうございました。(前川) 子ども議会で、少しきんちょうしたけれど、練習通り意見を言えてよかったです。声を全員合わせて言うところで、少しずれてしまったけれど、自分にとってとても良い経験でした。

暮らし安全環境課

答 町内では、「さくらねこ」の活動などを行っています。これからも動物の命を尊重する社会を目指します。

感想 (安達) 大雪のため小学校でしましたが、真剣に自分の意見を伝えることができました。きんちょうして言葉がとんでしまいましたが、とり直しでしっかりできました。これからもこのような経験をつみかさねていきたいです。(石井) 自分がふだん疑問に思っていることを議会で話し合うことで、今まで知らなかった愛荘町の取り組みを新たに知ることができ、勉強になりました。貴重な経験をありがとうございました。

暮らし安全環境課・建設下水道課

答 「自分の安全のため、何ができるのか」をみなさんに意識してもらえるような啓発に取り組んでいきます。

感想 (長澤) ぼくは、子ども議会の質問をすることになりました。本番に向けて何度も練習しました。本番はきん張したけれど、しっかりできてよかったです。議会は、空気がぴりぴりして大変だと思いました。(古川) 他の学校といっしょにできなかったのは残念だったけれど、自分たちが考えた発表ができました。またできる機会があればやりたいと思いました。最初は緊張して、ミスをしたけれど終わるまでなるべくミスをしないようにがんばれました。

みらい創生課・福祉課

答 みなさんと一緒に考え、力を合わせながら、よりよい愛荘町をつくっていきたくて考えています。

感想 (吉岡) 僕は、子ども議会に出て議会のことを体験し学びました。そして、成長もさせていただきました。議会とはこのような感じなのか、このような空気感なんだと知り成長させていただきました。(菊地) 子ども議会では将来への一歩目みたいな感じがしました。人の前で話したり、自分の提案について話すのはとても緊張しました。この経験を中学校でサッカーをするのでいろんなことに活用したいです。

子どもと高齢者・地域の方々が交流できるようなイベントの開催について

つの りと 津野 璃十 議員 (秦荘東小学校)
まえがわ ゆうご 前川 悠悟 議員 (秦荘東小学校)

問 愛荘66かまど祭りを通じて、町のイベントは地域とつながる貴重な機会であり、大変楽しみなものでありますが、イベントが少ないように感じています。子どもからお年寄りまで町民全員が楽しめるようなイベントを提案します。実現可能でしょうか。



動物愛護活動について

あだち りょうた 安達 嶺太 議員 (秦荘東小学校)
いしい えみり 石井 笑里 議員 (秦荘東小学校)

問 秦荘東小学校では、「動物愛護ボランティア部」が、人も動物も幸せに暮らせる社会をめざして活動しています。愛荘町では動物たちのための支援はどのようにお考えでしょうか。



交通事故防止対策について

ながさわ さく 長澤 朔 議員 (秦荘西小学校)
ふるかわ はるき 古川 陽揮 議員 (秦荘西小学校)

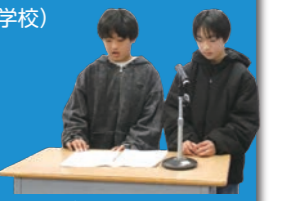
問 滋賀県警察本部発行の滋賀の交通2024年によると愛荘町内での交通事故は44件で、前年度と比べると6件増えています。交通事故を減らすために、反射材やLEDランプを配布することはできるでしょうか。



空き家を生かした実家のような定食屋について

よしおか おうじゆ 吉岡 桜寿 議員 (秦荘西小学校)
きくち とうご 菊地 透伍 議員 (秦荘西小学校)

問 愛荘町には空き家がたくさんあります。その空き家を使って、高齢者の方に働いていただき、定食屋を作ることを提案します。空き家を使い、高齢者の方が活躍できる場所があれば、地域がもっと元気になると思いますが、実現可能でしょうか。



あなたも議会を傍聴しませんか。

6月定例会の予定

本会議のみインターネットで
配信しています！

愛荘町議会の映像配信
ホームページへ

<https://aisho-town.stream.jfit.co.jp>



本会議(場所 議場) 午前9時30分～

- ◎ 5月 25日(月) 町長提案趣旨説明(開会)
- ◎ 6月 9日(火) 一般質問
- ◎ 6月 10日(水) 一般質問、議案審議
- ◎ 6月 19日(金) 議案審議(閉会)

委員会(場所 第4会議室) 午前9時30分～

- 6月 12日(金) 総務産業建設常任委員会
- 6月 15日(月) 教育民生常任委員会



上記の本会議・委員会を傍聴できます

(都合により、会議の日時が変更になる場合があります) 議会事務局：TEL 42-7670
会議時間の詳しくは事務局へお問い合わせください。 FAX 42-7698

令和8年度 広報常任委員会



行政手続きのデジタル化が進んでいる状況を背景に、職員の働き方改革を目的として、令和7年12月から、役場庁舎等の開庁時間を9時00分から17時00分に変更されました。開庁時間の変更に伴い、議会においても本会議、委員会、全員協議会の開始時間を9時30分からに変更しましたのでご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

編集後記

このたびの3月定例会は、選挙後初めての議会となり、新たな議員体制のもとでスタートを切りました。予算審議では、新規事業はもとより、継続事業についても必要性や効果を丁寧に確認し、将来を見据えた議論が行われました。町民の皆様から寄せられる声を町政へしっかりと反映させることの重要性を、改めて強く感じております。

広報常任委員会といたしましては、こうした議会の動きを分かりやすく、そしてタイムリーにお伝えできるよう努めてまいります。今後とも、より身近で開かれた議会を目指してまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

久保田 正利 記

【発行責任者】

議長 河村 善一

【広報常任委員会】

委員長 久保田正利

副委員長 瀧 すみ江

委員 岡本志穂美

委員 久山 幸代

委員 村西 作雄